岐阜県
中山間農業研究所ニュース

2019年
第2号
2019. 7発行

特集　新技術と新品種を紹介します

- 夏秋トマトの収穫量が倍増！ トマト3Sシステム開発
- 健康に良い成分たっぷりなエゴマの新品種育成
- 日本一美味しい「コシヒカリ」栽培のコツ
- 脱!!　経験と勘！クリの適正な生育基準を策定

※詳しくは、研究所ホームページをご覧ください。

清流の国ぎふ

1　夏秋トマトの土壌病害回避、多収を可能とする『３Ｓシステム』

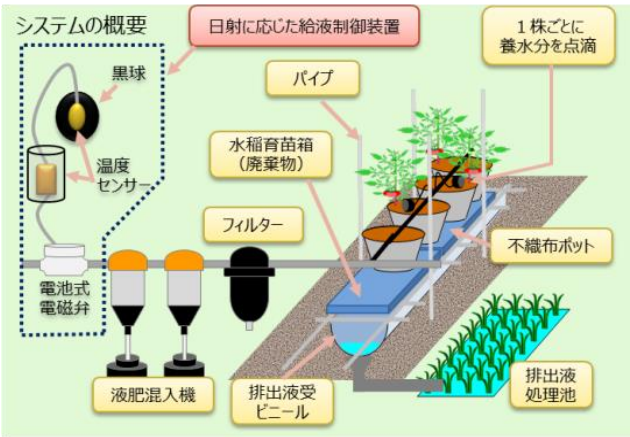
夏秋トマトにおいて、簡易な装置で日射に応じた給液を行い、土壌病害の回避と高単収(20t以上/10a)を可能とする技術として『3Sシステム』を開発しました。

3S(スリーエス)は、Small amount Separated cultivate-system for Solanaceaeの略称で、和訳するとナス科果菜類隔離型少量培地耕です。恵那地域、飛騨地域で導入が始まっています。

収穫開始時の着果状況

【 3Sシステムの特徴】
①不織布ポットで栽培
②簡易な装置で、天候に応じた養水分管理
③低コストで導入可能
④従来の土耕栽培と比較して2倍以上の収穫量

【支所担当／遠藤　彰将】



3Sシステムの概要

2　α-リノレン酸含有量が高いエゴマ新品種「飛騨小坂おんたけ1号」

エゴマは飛騨地域で古来より栽培されており、n-3系脂肪酸で必須脂肪酸であるα-リノレン酸を多く含む食材として近年需要が高まっています。

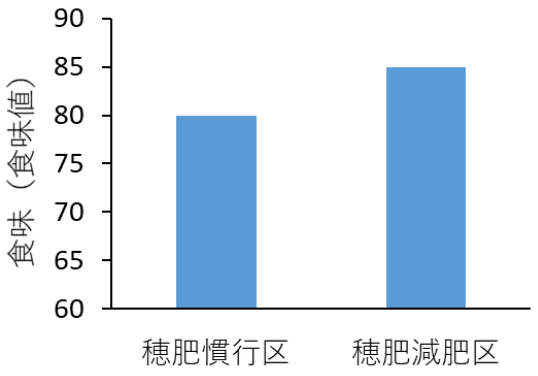
下呂市から新商品開発による地域振興を図るため、新品種の育成が要望されていました。

そこで、下呂市小坂町の在来種30種類から「飛騨小坂おんたけ1号」を選抜し、品種登録出願しました。収量性とα-リノレン酸が高く、草丈がやや短く倒伏しにくく、また種子が大きいのが特徴です。今年から下呂市小坂町中心に約4ha栽培が開始されました。　【本所担当／安江　隆浩】

面積拡大中の新品種と関連商品

3　「コシヒカリ」の良食味米生産のための栽培法

飛騨地域産の「コシヒカリ」は、コンクール等で高い評価を受けていますが、更に高い評価を得るための方法を研究しました。その結果、穂肥を減らしたり、移植時期を標準より遅らせると、食味値や味度が向上することが明らかとなりました。



穂肥慣行区と穂肥減肥区の食味の比較

この結果や過去の知見をもとに、JAひだ稲作協議会等が「飛騨米は味で勝負」という冊子を作成し、その中の食味向上10か条に記載し、全生産者へ配布しました。　【本所担当／可児　友哉】

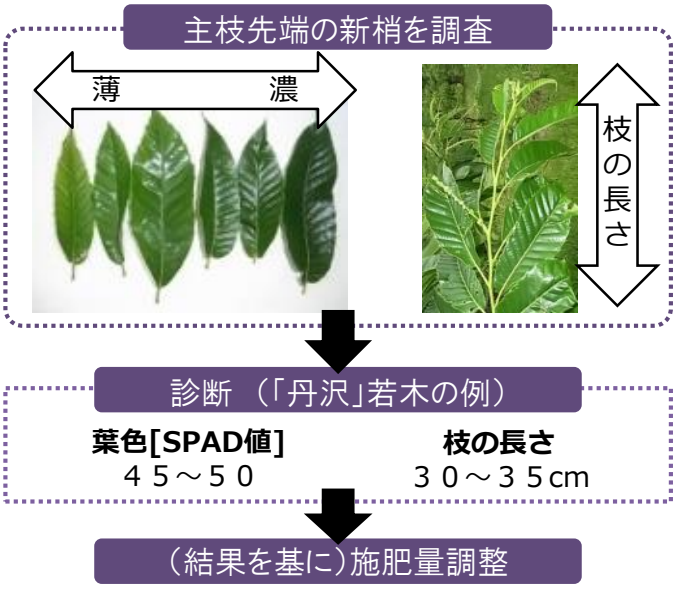
4　クリの適正な樹勢の基準を策定

地元菓子業者から県内産のクリ需要が増加する中で、新規生産者が増加しつつあります。

経験が浅い人でも樹の状態が管理できるように、樹齢に合った樹勢診断基準を策定しました。主要な品種「丹沢」「筑波」について、樹齢別の診断時期、診断部位および適正な基準を明らかにし、右図のような診断フローを確立しました。

これを全生産者に配布することで、新規栽培者でも簡単に樹勢の良し悪しの判断できるようになるとともに、樹勢に合わせて施肥量を調整することができ、生産性が安定することが期待されます。

【支所担当／荒河　匠】



樹勢診断のフロー図

令和元年度試験研究中間検討会開催のお知らせ

・中津川支所（中津川市福岡）　・・・・・・・・・・ 8月20日（火）13：30～
トマト・ナス・ｼｸﾗﾒﾝ等花・クリ・水稲

・本所（飛騨市古川町）施設園芸部 ・・・・・・ 8月28日（水）13：30～
トマト・ホウレンソウ・切り花

作物・果樹部 ・・・・ 9月 4日（水）13：30～
水稲・エゴマ、モモ、リンゴ

岐阜県
中山間農業研究所

本　　所　〒509-4244　岐阜県飛騨市古川町是重2丁目6-56
TEL: 0577-73-2029　FAX: 0577-73-2751

中津川支所　〒508-0203　岐阜県中津川市福岡1821-175
TEL: 0573-72-2711　FAX: 0573-72-3910

研究所ホームページ　http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/